

## ○ 委員長報告

9月定例会本会議で報告された総務企画委員長報告は、以下のとおりです。

令和5年9月定例会

### 総務企画委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、県庁第二別館の建替えについてであります。

このことについて一部の委員から、どのような機能を持つ庁舎として整備するのか。また、地元企業や県産品の活用はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、建物本体の機能としては、CO<sub>2</sub>排出量を50%以上削減するZEB Readyの実現のほか、耐震壁としてCLTを活用する計画であり、執務機能では、防災オペレーションルームを新設し災害対応の強化を図ることとしている。

さらに、DX関連企業等との連携・協働の場として官民共創拠点を整備するとともに、オープンフロアによる業務効率化と利便性を高めたスマート県庁への転換を目指すこととしている。

また、新築工事においては、県内企業の持分を一定割合以上確保し、一次下請は全て県内企業にするとともに、資材のうち可能なものは全て県産品とする計画である旨の答弁がありました。

第2点は、トラック物流効率化等支援事業についてであります。

このことについて一部の委員から、事業の具体的な内容はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、本事業は、物流の2024年問題に対応するため、輸送効率化につながる配車計画システムや荷役作業の負担軽減のための標準パレット、フォークリフト等の導入、また、多様な人材の確保・活躍を促すための労務環境整備として、シャワー室や女性用休憩室、託児スペースの設置等に取り組むトラック事業者に対し、経費の2分の1を補助するものである。

ドライバーの労働時間の短縮により最も影響を受けるのは、長距離トラックによる物流と考えており、主な支援対象としては、長距離トラックを10台以上保有する約40社を中心に想定している。予算額を上回る申請があった場合は、長時間労働の状況や女性雇用に対する意欲等を確認して事業者を選定した

い旨の答弁がありました。

第3点は、新幹線生みの親と呼ばれる十河信二とその妻キクを主人公としたNHK朝ドラの誘致についてであります。

このことについて一部の委員から、NHKへの要望活動の状況と署名数についてただしたのであります。

これに対し理事者から、NHKへの要望は、推進協議会の顧問会長である知事と共同代表の西条市長・新居浜市長が、9月7日、東京のNHK放送センターを訪問し、要望書を手交するとともに、知事から「誘致を西条市長・新居浜市長に働きかけたところ、両市長が『ひかり』の速さで動き、その声が住民に『こだま』のように広がり、そして、この『のぞみ』をやがて実現させたい」との表現により、地元の熱い思いを伝えることができた。

また、署名数は、9月24日現在で6万2,230筆となっており、今後とも両市と連携し、四国新幹線誘致の関連イベントや県外での県人会総会など様々な機会を捉え、署名活動や広報活動に積極的に取り組み、誘致実現につなげていきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・愛媛県核燃料税条例の内容と他県の状況
- ・県税の徴収確保対策
- ・県・市町の財政運営状況
- ・県民文化会館南側県有地の活用検討
- ・マイナンバー情報の総点検

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。